



第 320 号  
発行 2010年11月15日

佐賀市緑小路1-3  
社会福祉法人  
めぐみ厚生センター  
めぐみ園 0952(34)7722  
富士学園 0952(63)0107  
ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一  
事務局 0952(25)2797  
印刷所 (株)古川総合印刷



## めぐみ厚生センター 創立六十周年記念 コンサート

二〇一〇年十月一日、佐賀県立美術館ホールにて、めぐみ厚生センターの創立六〇周年を祝う記念コンサートを開催しました。

佐賀市出身のテノール歌手勝田友彰さん、ピアノ田中雅子さん、エレクトーン宮地真美さん、クラリネット重松由美さんをお招きして童謡からクラシックの名曲まで多彩な曲目を披露していただきました。

めぐみ厚生センター歌の齊唱ではセンター内各施設の利用者・職員・家族で満席となつた会場とステージが一体となり、創立六〇周年をお祝いすることができます。



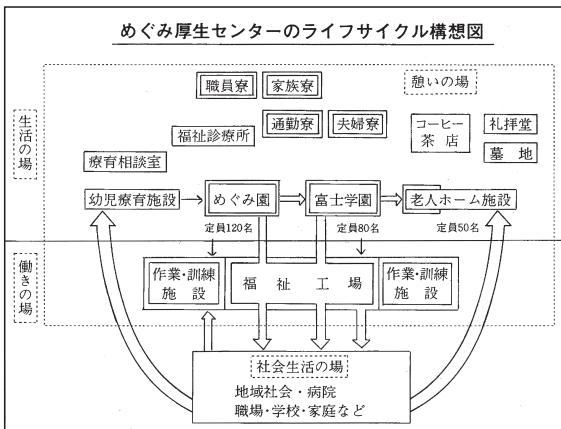


創設者栗林眞吾・ミサゴ夫妻



## 「めぐみ厚生センター 六十周年を迎えて」

めぐみ厚生センター理事長

**栗林 恵一**

S 58年めぐみ園要覧記載の将来構想図

（）生活の場と働きの場を分離していることや夫婦寮・通勤寮・相談室、また、地域社会からの施設利用構想まで、現行制度を先取りした形を模索していたともいえよう。

えられるよう、関係昔から変わらないことをとして嬉しく思います。その信頼に応

昭和二十五年（一九五〇年）に創設者栗林ミサの熱い祈りのもと、「キリストの愛の精神をもつて共に生きる」ということを基本理念として創設されました。それから六〇年、徹底して「隣人を愛し、隣人に仕（つか）える」ことを実践して参りました。しかしながら昨今のめまぐるしく変わる社会情勢

の中で、私達が今後歩むべき道がどうなるのか、どのように歩むべきかを試行錯誤しながらBestを目指して、その時代に合わせて、よりBetterな方法をと考えております。

御存知のとおり、今は情報があふれており福祉の世界も様々な情報が飛び交つており、多様な福祉サービスが実

施されています。このめぐみ厚生センターもこの六〇年の間に大きく変わりました。施設の規模を縮小し、グループホームやデイサービスで対応せざるを得なくなりました。結果的に「施設から退所」という形をとられた方もいらっしゃいますが、施設入所ではなくてもグループホームやデイサービスを得なれました。結果的に「施設

だと考えております。

めぐみ厚生センターのファミリー

六〇年の歩みを振り返りながら、さらにいくこと」ができますよう全力で取り組んでいく所存でございます。

どうかこのめぐみ厚生センターの六〇年の歩みを振り返りながら、さらにいくこと」ができますよう全力で取り組んでいく所存でございます。

### 社会福祉法人めぐみ厚生センター



めぐみ厚生センター事業所マップ

今後も多様性に富んだ事業運営が期待されています。

# 六十周年

## おめでとう



恵友会 会長

鳴原 貞雄

めぐみ園（ここではこう呼ばせていただきます）が、設立六十年を迎えるという。誠におめでたい限りです。半世紀と一昔を歩んできた事になります。六十年というのは数字だけ見ると大そうにも見えるし、小さくも見えます。昭和の年代で数えても八十五年、戦後で数えても六十五年です。人生の永い時間の中から見ても、ほんの一瞬と思えるくらいです。

私などは自分と比べてもほんの人生の一瞬と思えるくらいに感じます。

現在、福祉の世界ではここ二、三年悪法呼ばわりされている障害者自立支援法に振り回されていますが、障害者自立支援法も悪くする為に作られたのでは無い筈です。より良くと考えても結果的に受け入れられないか、受け入れられ難い時もあります。時は一進一退しながら進みます。そこで努力している者とそうでない者の差が出てきます。努力した者だけが“継続可”と言ふ通行キップが貰えます。めぐみ園は一〇〇年を目指して“継続可”的キップを手にしました。

めぐみ園（ここではこう呼ばせていただきます）が、設立六十年を迎えるという。誠におめでたい限りです。半世紀と一昔を歩んできた事になります。六十年というのは数字だけ見ると大そうにも見えるし、小さくも見えます。昭和の年代で数えても八十五年、戦後で数えても六十五年です。人生の永い時間の中から見ても、ほんの一瞬と思えるくらいです。

この社長は五年を節目に何か記念行事をやっています。勿論景気の好、不好で内容の差はあります必ずやつています。彼曰く、これは従業員への感謝の気持ちと、自分の現在の確認（自分で自分の尻を叩く）とのことです。そして五年後、十年後を目指してがんばる気力をもらっているのだといいます。

めぐみ園もこの六十周年をどう感じ、どう行動して行くかをこの際考えていくことが六十周年という行事が生きて行くのではないでしょうか。

めぐみ園（ここではこう呼ばせていただきます）が、設立六十年を迎えるという。誠におめでたい限りです。半世紀と一昔を歩んできた事になります。六十年というのは数字だけ見ると大そうにも見えるし、小さくも見えます。昭和の年代で数えても八十五年、戦後で数えても六十五年です。人生の永い時間の中から見ても、ほんの一瞬と思えるくらいです。

この社長は五年を節目に何か記念行事をやっています。勿論景気の好、不好で内容の差はあります必ずやつています。彼曰く、これは従業員への感謝の気持ちと、自分の現在の確認（自分で自分の尻を叩く）とのことです。そして五年後、十年後を目指してがんばる気力をもらっているのだといいます。

めぐみ園もこの六十周年をどう感じ、どう行動して行くかをこの際考えていくことが六十周年という行事が生きて行くのではないでしょうか。

これから先もたくさんの問題、課題が提供されるはずです。四十年後の一

戦争の直後に周囲の理解や制度化の無いに等しい頃立ち上げられた創業者栗林ご夫妻は、想像以上の困難が伴つたものと思います。

当時はボランティアとか福祉という言葉すら一般的に耳にする事は無かつたでしょう。こうしたご苦労があつて今、六十周年を迎えることを我々は忘れてはならないのです。

少々話の方向は変わりますが、私の友人で現在会社創立三十五周年を迎える社長がいます。めぐみ園や他の古い会社と比べると見劣りします。従業員はアルバイトを含めると一、〇〇〇名くらいになっています。

この社長は五年を節目に何か記念行事をやっています。勿論景気の好、不好で内容の差はあります必ずやつています。彼曰く、これは従業員への感謝の気持ちと、自分の現在の確認（自分で自分の尻を叩く）とのことです。そして五年後、十年後を目指してがんばる気力をもらっているのだといいます。

〇〇周年にはどんなめぐみ園になつていて、六十周年を祝つた皆様が、どんな形で関与できているのか考えてみると、楽しい限りです。

私共“恵友会”は丁度半分の三十周年を平成二十三年に迎えます。会員も一、〇〇〇名にならんとしています。過去を見ると実会員数三〇〇名台だったこともあります。我々サポートーは数で勝負です。少ない事より多い方が利用者の為にも、ご家族の方々、職員の人にも力強くアピール出来ると思っています。

今後も、めぐみ厚生センターのサポートとして“何かの役に立ちたい”気持ちを忘れずに共に行動をしていきたくと考えています。

七十年、八十年は貴方の年令と同じくアツという間に来ます。これは時間ですから誰もどうしようも無い事です。しかしその時が来たらどうするかは、今考え行動すれば流れに乗った対応は出来ると思います。行動は難しく考えないで、自分にできる事を“やるだけ”です。



# 創立六十周年を

## 祝して



めぐみ園  
家族会会長

江崎悠紀子

めぐみ厚生センター創立六十周年おめでとうございます。創設された昭和二十五年といえば、まだ終戦の色も濃く残り、人々の心も福祉を考える余裕など無かつた時代かと思います。そんな時期に、知的障がい児の為の施設を立ち上げられた「栗林眞吾・ミサ」ご夫婦のご苦労は、筆舌に尽くし難いものがあったと思います。創設から五十四年（平成十六年）めぐみ園は東与賀の地に、新しい広く立派な住処を与えて、利用者も家族も一緒に大喜びで落成を祝いました。私達の子供達の為に素晴らしい家を作つて頂きありがとうございました。

さて、この十年間は制度改革が頻繁に行なわれ、長い措置制度が平成十五年末には解除になり、契約制度へと変りました。又、支援費制度から障がい者自立支援法へ、そして又、三年後に新制度の「総合福祉法」（仮称）へと変ることが決まっています。障がい者は新制度の「総合福祉法」（仮称）へと変ることが決まっています。障がい者は自立支援法では、地域移行が高らかに謳われています。

今はいろんなサービスがあつて、組

み合わせて、うまく支援サービスを使えば地域で暮らすことは出来やすいのかもしれません。でも措置制度の時代から施設に入所していた障がいを持つた人達には、地域移行は難しい事ではないかと思います。

それぞれの地域の方に、障がいを理解して頂くように、どのように働き掛けで行く事が出来るのか勉強していくことが、私達家族の役目ではないでしょうか?

又、めぐみ園では、地域交流が盛んに行なわれています。「ふれあい夏祭り」では、地域の皆様に举って参加して頂き、佐賀市東与賀町・川副町・久保田町の商工会青年部やボランティアの方々など、多くの皆様に支えて頂いておりますが、その中に私達家族会も参加してお手伝いさせて頂いています。その他にも、めぐみ園では色々な行事があり、ブレークや七夕まつり、ふれあいの広場、クリスマス、ひなまつり等々、その度にボランティアの方々にはお世話になり、職員の方には、利用者一人ひとりの能力に応じてご指導をして頂き、いつも感謝しております。

利用者は、めぐみ園では、キリスト教のおしえに守られて、楽しく平和に暮らしていると思います。私達家族としては、創設者の御心に出来るだけ近づけるように感謝をもつて、めぐみ厚生センターが、いつまでも存続しますようにと願っています。

み合させて、うまく支援サービスを使えば地域で暮らすことは出来やすいのかもしれません。でも措置制度の時代から施設に入所していた障がいを持つた人達には、地域移行は難しい事ではないかと思います。

それぞれの地域の方に、障がいを理解して頂くように、どのように働き掛けで行く事が出来るのか勉強していくことが、私達家族の役目ではないでしょうか?

又、めぐみ園では、地域交流が盛んに行なわれています。「ふれあい夏祭り」では、地域の皆様に举って参加して頂き、佐賀市東与賀町・川副町・久保田町の商工会青年部やボランティアの方々など、多くの皆様に支えて頂いておりますが、その中に私達家族会も参加してお手伝いさせて頂いています。その他にも、めぐみ園では色々な行事があり、ブレークや七夕まつり、ふれあいの広場、クリスマス、ひなまつり等々、その度にボランティアの方々にはお世話になり、職員の方には、利用者一人ひとりの能力に応じてご指導をして頂き、いつも感謝しております。

利用者は、めぐみ園では、キリスト教のおしえに守られて、楽しく平和に暮らしていると思います。私達家族としては、創設者の御心に出来るだけ近づけるように感謝をもつて、めぐみ厚生センターが、いつまでも存続しますようにと願っています。

## （創立六十周年を祝つて） 隨 想



富士学園  
家族会会长  
村岡 洋

社会福祉法人めぐみ厚生センターの創立六十周年、誠におめでとうございます。人であれば還暦の年、富士学園家族会を代表しまして心から祝詞と感謝を申し上げます。

激動の昭和の時代にめぐみ園が創立されて諸々な問題を克服され、創設者栗林眞吾・ミサ子夫妻の創立の精神「創設者の祈り」を現在も継承され清栄のことお喜び申し上げます。

私の家族がめぐみ厚生センターにご縁を頂いたのは、昭和三十年に兄がめぐみ園に入所した時からで、それから十二年間お世話になり、その後、昭和四十二年に成人施設富士学園が開園し移転入所し現在に至っていますが、その兄は今年で六十一才になり、めぐみ厚生センターで通算五十五年間お世話になっています。

近年、施設福祉から地域福祉への流れで入所施設の規模縮小に拍車が掛る現在ですが昭和三十年頃は国や県及び市町村の障がい者福祉施策にしても、地域の方々の知的障がい者に対する理解も進んでいない頃で、また、私の家

族内でも昭和三十年に父が他界したため、母と三才の私、一才の妹の生活を考えれば、今なら当然、施設利用を考えるところですが、当時、入所施設等はほとんど無く、「よくめぐみ園に入所出来たな」と今更ながら感謝申し上げる次第です。「もし、兄がめぐみ園に入所出来て無かつたら・・・」と考えますと恐ろしくなります。

昭和五十九年に「親が年老いたら兄弟姉妹に後は頼む」と兄弟姉妹の会が発足し役員を任せられ、保護者会のお手伝いや交歓の夕べ、ふれあいの広場、旅行など親に代わって参加するなどの活動をしていました。兄弟姉妹の会は保護者会のお手伝い役と考えていたところに園舎新築の計画が持ち上がり、宿泊研修等で協議が行われたときのことですが、研修終了後、役員で窓いで居たところへ、故栗林恒俊施設長がお見えになり、「今度の園舎にはあなた達の若い方の考え方や意見等がほしい、遠慮せずに言つてくれ」との一言で園舎新築に深く係つていつたこと思い出します。平成八年に新園舎が竣工し快適で安全な生活環境の整備と併せて地域交流スペースが地域とのふれあいの充実を求めて完成致しました。

平成十七年には、親の方が病気や死亡により、親の代わりに家族の代表者に兄弟姉妹の方が多くなられたことをきっかけに、保護者会と兄弟姉妹の会双方を統合し富士学園家族会が発足しました。さらにお二人のご尽力にて県

この数年の間に利用者やその家族又は施設を取巻く障がい者に対する福祉施策は目まぐるしい程に変化しています。根本は国の財政が厳しくなり、従来からの措置制度が平成十五年四月より支援費制度（障害のある人の自己決定を尊重し利用者にとつて利用しやすい制度）に移行しましたが、お金だけで不利益を補充する考え方の支援費制度に国の予算がまたまたオーバーしたため多くの課題を解決する為の代替制度として、障害者自立支援法が平成十八年四月より施行されました。（入所施設の障害者自立支援法への以降は経過措置があるため平成二十四年三月まで前制度の利用が可能となつて）が、平成二十一年九月一日、政権与党が自由民主党から民主党に政権が交代し、障害者自立支援法廃止の決定により、障害者自立支援法を制定する旨が決まり、障がい者制度改進推進会議等にて検討・協議されています。（障がい者がい者総合福祉法を制定する旨が決まり、障がい者制度改進会議等にて検討・協議されています。（障がい者総合福祉法の制定は平成二十四年九月以降と報じられている。）

このように、法律の根本から障がい者に対する福祉施策は変化しています。平成十四年から地域生活移行整備に対応すべく、グループホーム（後にケアホームとなる。）を建設する案が持ち上がり、富士学園前施設長の嶽山眞司様や前ウイズ富士施設長の吉田太作様の国や県へのお骨折りもあり、平成十八年までに六棟のケアホームが完成しました。さらにお二人のご尽力にて県



の距離が近くなり、休日等は町内に買い物に行ったり食事に出掛けるといった機会が増えています。利用者にとっては楽しく快適な暮らしでも、家族としては心配でなりません。措置から契約へ代わり、家族の置かれている立場等が複雑になりつつある時、利用者のために可能な限り協力させて頂きます。

最後になりましたが、社会福祉法人めぐみ厚生センターが障がい者福祉の先駆者としてのさらなる発展とともに、栗林恵一理事長はじめ職員や関係者の皆様への感謝と今後のご健勝をご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ケアホームでは利用者と地域の方との距離が近くなり、休日等は町内に買い物に行ったり食事に出掛けるといった機会が増えています。利用者にとっては楽しく快適な暮らしでも、家族としては心配でなりません。措置から契約へ代わり、家族の置かれている立場等が複雑になりつつある時、利用者のために可能な限り協力させて頂きます。

内でただ一つだった福祉ホーム「オリーブ寮」も地域移行型ホームを経てケアホーム「オリーブ」として事業を開始し、さらに二棟の新築ケアホームを整備し、現在九棟で七十一名の方が利用されています。

## ～センターだよりの記事に見るこの10年～

### 2001年

- 1.3 めぐみ園利用者バルーン初フライト体験
- 4.某日 めぐみ園職員〇さんへ事件容疑者逮捕協力で  
佐賀署より感謝状贈呈
- 9.5 九州地区施設親善球技大会へ富士学園  
Nさんが代表として出場
- 12.15 そよかぜ館オープン富士学園より野菜出荷

あんなこと、こんなことありました。

### 2002年

- 2.21 めぐみ園へ重さ19kgの桜島大根2個寄贈
- 3.31 2002年版富士学園個別支援要領完成
- 5.24 めぐみ園利用者サッカーのサガン鳥栖vs  
カメリーン国際親善試合を観戦
- 8.24 めぐみ園利用者吉本新喜劇舞台鑑賞
- 11.1 ピースハイム高木瀬を開所利用者6名



### 2003年

- 2.5 めぐみ園へ元X-JAPANのTOSHI来演
- 4.1 措置から契約へ、支援費制度スタート
- 9.15 センターだよりが隔月発行に  
9.30 ピースハイム富士完成
- 11.27 大和ジャスコにてふれあいフェア

### 2004年

- 1.1 めぐみ園成人施設化東与賀町飯盛へ新築移転
- 1.1 知的障害者デイサービス「どりいむ」開所
- 4.30 山口サンタさんご逝去
- 10.1 通所更生施設ウイズ富士開所
- 10.1 ピースハイム富士Ⅱ・川久保・鍋島・多布施開所



### 2005年

- 4.1 富士学園自閉症特別支援委員会発足
- 9.4 ウイズ富士福岡ドームにて野球観戦
- 12.10 小野田寛郎元陸軍少尉ご夫妻  
センター各施設を訪問



### 2007年

- 2.12 富士・ウイズ「筆子、その愛映画鑑賞」
- 8.21 富士学園へ瑞宝太鼓訪問演奏
- 10.15 ウイズ利用者Mさん全国障害者スポーツ大会  
フライングディスクで金・銀2個のメダルを獲得



### 2009年

- 4.1 JKA補助事業ピースハイムめぐみ開所
- 4.1 ピースハイム金立Ⅱ開所
- 8.26 唐人町子ども会、ウイズ富士にて農業体験
- 10.10 西九大短期大学部でめぐみ園利用者踊りを披露
- 11.17 韓国姉妹園「手と手」より來訪

### 2006年

- 4.1 障害者自立支援法施行
- 4.1 ピースハイム金立開所
- 5.23 めぐみ園自衛隊目達原駐屯地見学
- 10.1 どりいむ生活介護事業所として新体系移行
- 10.1 めぐみ園新活動棟完成

### 2008年

- 3.26 日本財団助成マイクロバス「すまいる号」納車
- 4.30 めぐみ厚生センターホームページ開設
- 6.8~12 韓国姉妹園「手と手」を訪問
- 10.2 富士・ウイズ音楽広場ドリームランド観覧

### 2010年

- 3.31 富士学園急傾斜対策工事完了
- 5.16 老人ホーム鳳寿園にてめぐみ園利用者踊り披露
- 7.15 センターだより発行30周年
- 10.1 センター創立60周年記念コンサート開催





た。めぐみ園職員と富士学園の職員の方と合同で参加し、南部消防署の隊員四名を迎えて行いました。

応急手当と救命処置の重要さを改めて知り、AEDの使用方法などについて学びました。実際に、練習用のAEDを使用し、もし緊急時に居合わせてしまつたという状況で実技指導も行われました。

十月六日にめぐみ園にて、緊急時に對する応急手当の方法の研修が行われました。

めぐみ園職員と富士学園の職員の方と合同で参加し、南部消防署の隊員四名を迎えて行いました。

応急手当と救命処置の重要さを改めて知り、AEDの使用方法などについて学びました。実際に、練習用のAEDを使用し、もし緊急時に居合わせてしまつたという状況で実技指導も行われました。

### 救急法研修

めぐみ園



出演者の皆様ありがとうございました。

すばらしい時間  
をいただ  
き、ほん  
とうにあ  
りがとう  
ございま  
した。

勝田さんをはじめ、出演者の皆様に  
めぐみ園を代表して四名の方が花束を  
贈呈しました。気軽に声をかけていた  
だき、最後のめぐみ厚生センター歌齊  
唱ではステージ上で一緒に歌うことが  
できました。センター歌の伴奏はめぐ  
み園職員野中雅哉が務めました。

### 創立六十周年記念コンサート

### 歯科臨床実習



一緒に風船割るぞ!!

楽しい時間を過ごせ、利用者の皆さんは笑顔でいっぱいでした。ありがとうございました。  
午前中は、レクリエーションで玉入れや風船割り椅子取りゲームなどで汗を流し、午後からは少し緊張気味に歯磨きの仕方について優しく教えてもらいました。

楽しい交流の時間を過ごせ、利用者の皆さんは笑顔でいっぱいでした。ありがとうございました。

十月三十日、旧めぐみ園跡地で「ふれあいの広場」が開催されました。めぐみ園では、バザー・コーヒー喫茶コーナー・野点コーナーを担当しました。各コーナー担当の利用者のみなさんが大きな声で呼びこみを行っていました。

### ふれあいの広場



秋晴れの穏やかな天気の中、多くの皆様のご協力により、盛大に開催することができました。



#### 野点コーナー

また、参加された利用者のみなさま、バザーや屋台コーナーでは好きな物を選んで購入されていました。



## ふれあい旅行 ~2010年10月18・20・26日~



太宰府天満宮で祈願



動物園の電車に乗ってます



福岡市動植物園来園記念

富士学園

平成22年10月20日



ちょっと休憩しています



目の前には→



←象がいます



アサヒビール工場見学

憐れみと平和と愛が、あなたがたに  
ますます豊かに与えられるように。  
(ユダの手紙 一章一節)

## 聖句



あそこにもここにも魚のおるよ

## ウイズ富士ふれあい旅行

九月二十六日「呼子・鷹島」日帰り旅行がありました。呼子で「ジーラ」に乗船し、船底から見る魚たちの大群に大喜び！モンゴル村では草原に吹きわたる風を感じながらの散歩やお土産屋さんでのお買い物など楽しい旅行となりました。

## ウイズ富士

体育館では学生の皆さんがあなたと一緒に拍手で迎えて頂き、施設や作業所、高校、西九州大学の紹介や出し物があり、全員でのゲームやダンスで楽しみ、おいしい弁当を頂きました。



盛りだくさんのプログラム

十月十六日、西九州大学短期大学部生活福祉学科主催で行われた「第十回 大きくなあれ 友達の輪」に利用者四名、職員一名がご招待いただき、参加しました。



- ● ○めぐみ園へ 来賓・家族の皆様より 寄付並びにジュース寄贈
- めぐみ園へ 寄付
- 市丸俊文様より 寄付
- 富士学園家族会様より 寄付
- 村岡洋子様より 寄付
- 栗林恵一様より 寄付
- 田代賢治様より 寄付
- 川崎俊朗様より 寄付
- ○富士学園・ウイズ富士へ 寄付
- めぐみ園家族会より 寄付
- 匿名氏様より 寄付

皆様ありがとうございました  
(九・十月分)

## ◎法人へ



学生の皆さんの手話コーラス

東与賀町でのめぐみ園の歩みも  
すでに六年を過ぎ、多くの関係者の  
努力によって、入所者へはもち  
ろんのこと、どりいむへの通所、  
短期入所や児童デイサービスなど  
在宅の方へのサービスの拠点とし  
ても広く認知されたことは、あの  
ときの決断が決して間違いではな  
かつたということなのでしょう。

今号はめぐみ厚生センター創立六十周年を記念して増頁してお届けしました。

## あとがき